

「前代未聞大洪水大變之事」（三宅家文書）について

「前代未聞大洪水大變之事」（以下、「本資料」とする。）は嘉永3年9月2日から3日（1850年10月7日から8日）に現在の兵庫県北部やその周辺を襲った大洪水の記録です。

三宅家は豊岡市宮井にあった大庄屋で、本資料には奈佐地区をはじめとする豊岡地域の様子が詳述されています。

本資料によると、9月2日の朝から雨が降り始め、七ツ時（16時ごろ）には北東の風が吹き荒れました。3日の朝には奈佐川周辺から現在の豊岡市街にかけて大洪水となり、小田井神社などに被害が出たと書かれています。

なお、本資料に関することは『豊岡市史』上巻の505ページに詳しく書かれているほか、『出石町史』第1巻にも出石藩「御用部屋日記」による被害の記録があります。豊岡市史や出石町史を含む各市町村史（誌）の内容は豊岡市立図書館ホームページでご覧いただけます。

【問い合わせ先】

豊岡市観光文化部文化・スポーツ振興課文化財室

〒669-5305 兵庫県豊岡市日高町祢布 808

TEL：0796-21-9012 FAX：0796-42-6112

E-mail：bunkazai@city.toyooka.lg.jp